

学校教育目標

伝え合い 学び合う 佐古の子

【学校経営方針】

- (1) 学ぶ意欲を引き出し、自ら考え、他者と学び合う楽しさを味わいながら、つけるべき力が身につく授業をつくる。
- (2) 他者とよりよくかかわる力や豊かな心を育み、安心で、温かく活力のある学校、学級、学年をつくる。
- (3) コミュニティ・スクールの取組を通して、学校を開き、家庭・地域とさらに連携・協働し、地域と共にある学校をつくる。

重点目標(研究主題)

「学び方を身に付け、自ら考え続ける子どもの育成」

【学びづくり】

- 1 算数科の授業改善
- 2 校内研修を実施:学力調査問題分析と誤答分析
 - ①自立した学習者とは
 - ②学び方を身に付ける学び
 - ③日常授業の改善
- 3 学習の基盤づくり
(認知能力の育成と中学校区取組)
※自己調整力を育む。

【体づくり】

- 1 心身の健康と安全教育の充実
 - ①体力向上
 - ②基本的生活習慣の定着
 - ③情報モラル
- 2 避難訓練を通して命を守る学習の充実(判断力と心の安定)
※自分で考え、落ち着いて、状況に応じて行動する。

【心づくり】

- 1 安心・安全の学級・学年づくり
 - ①生徒指導・人間関係や情報環境の変化の中で予防的に立った指導
 - ②あいさつの定着
 - ③掃除の徹底
 - ④ありがとうカードの取組
- 2 生徒指導(学級経営)研修の実施
※自分の状況から次の行動を考え選択する力

「学校が楽しい」100% 「授業がよくわかる」92%以上
「だれにでも進んであいさつができる」92%以上

◆数値目標◆「授業に主体的に取り組んでいる」90%以上

「話し合いを通じて自分の考えを深めている」90%以上

「学校のきまりをまもっている」94%以上 「みんなで何かをするのは楽しい」97%以上

「学校の先生は話を聞いてくれる」98%以上

「学校力(学年・学級経営)の向上」

- 温かなコミュニケーションを大切にする。
- 子どもが楽しいと思える授業を展開する。
- 児童・保護者としていねいに向き合い、学級(学年)経営の充実を図る。
- 教科担任制の推進
- 学習・生活のきまりを徹底する。
- 発達障害や愛着障害についての児童理解
- 若手教員育成の風土をつくる。

【家庭と共に】

生活や学習の基盤を整える、家庭学習の質の向上

【地域と共に】

コミュニティ・スクール、地域学校応援隊「桜人」

【PDCA サイクル】

・各行事や学期ごとの反省、部会の充実、児童・保護者へのアンケート実施、学校運営協議会の開催、自己目標設定シート

【安全教育・安全管理の充実】

・防災・防犯訓練の充実、家庭との連携、民生児童委員や学校地域応援隊「桜人」との連携

【働き方改革の推進】

・学年団の連携強化、教育活動の精選、会議時間の短縮と精選、教科担任制の推進

【家庭・地域との連携】

・月第3木曜日のあいさつ運動、学校だよりや校長だよりの発行、すぐーるやHPの積極的活用、地域学習の充実

【不祥事防止】

・組織力向上、温かなコミュニケーション、研修と面談の実施